Tsuruya
HIGH QUALITY ROOFING TILES

瓦Q&A

屋根材選び サポートBOOK

屋根材って
どんな種類が
あるの？

瓦のいい
ところって？

屋根って
メンテナンスが
必要？

やっぱり
地震や台風が
心配！

ご存知ですか？屋根のこと

家と暮らしを守る…
屋根って意外と大事なんです。

内装にはこだわっても意外と屋根まで気がまわらない方が
多いのではないでしょうか？ 屋根は風雨から家を守るのはもちろん、
音や熱をさえぎり快適な暮らしをもたらすもの。
屋根の性能によって家そのものの耐久性も変わります。

屋根材の種類っていくつご存知ですか？

大きく分類すると「粘土瓦」と「化粧スレート」と「金属」があります。
家を建てるときには、その違いを知っておくことがとても大切です。
その違いを知らないと、後から大きなメンテナンス費用がかかったり、
快適性が違ったりと、後悔することもありますよ。

粘土瓦

化粧スレート

金属

※化粧スレートはセメントを主原料とした、薄い板状の屋根材です。

耐久性の違い

コストの違い

断熱性の違い

メンテナンスの必要性

このBOOKではとくに**粘土瓦のメリット**をお伝えします。

あなたが抱く瓦のイメージって？

他の屋根材よりコストが高い!?

重い屋根は地震の揺れに弱い!?

和風の瓦しかないの?

屋根材なんてどれでも同じでしょ?

やっぱり台風が心配…

本当は!! どんな住宅にもピッタリ

本当は!! 30年で考えれば はるかに安い

本当は!! 粘土瓦は夏涼しく冬暖かい

本当は!! 新耐震基準なら大丈夫

本当は!! 鶴弥の粘土瓦はすべて防災瓦

詳しくは3P　詳しくは6P　詳しくは7P　詳しくは8P　詳しくは9P

瓦は粘土を高温で焼成した「やきもの」

粘土瓦の強さと美しさの秘密

天然素材の柔らかい粘土が1,130℃もの高温の炎でしっかりと焼き締められ、照りつける夏の日差しにも厳しい冬の寒さにも耐えうる強固な屋根材が創り出されます。
さらに美しい色合いを出す釉薬が同時に表面で溶融しガラス質の膜で覆い、塗り替えが不要なほどの高い耐候性でその美しい外観と風合いを長期間保ち続けることができる屋根材です。

Q. 瓦って昔ながらの日本家屋に
ダサいイメージなんだけど、
イマドキの家に合う
オシャレな瓦ってあるのかしら?

A. **もちろんです。最近では、**
和洋問わず、いろいろな住宅の
デザインに合う粘土瓦がつくられています。

さまざまなデザインの瓦が揃っています。

純和風住宅にもシンプルでモダンな住宅にも、それぞれのイメージに合わせてぴったりのものを選ぶことができます。おしゃれ感はもちろん、重厚感、高級感あふれる瓦は住宅の存在感をも高めてくれます。きっとお気に入りの瓦が見つかります。

スーパートライ110 スマート

スーパートライ110 サンレイ

鶴弥製品ラインナップ

スーパートライ110 シリーズ

タイプ-I

いろいろなタイプの屋根にマッチ。

全11色

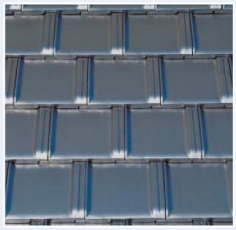
F形 売上げNo.1

タイプ-I Plus

F形瓦で唯一2寸勾配屋根に対応。

全3色

緩勾配対応



タイプ-III

和洋さまざまな建物にフィット。

全4色

緩勾配対応

スマート

フルフラットで洗練された形状が、住まいをsmartに演出します。

全7色

太陽光一体型対応

緩勾配対応

サンレイ

南欧風の明るいイメージがポイント。

全11色

軽 量

陶板屋根材

スーパートライ 美軽(みがる)

瓦の耐久性はそのままに、28kg/㎡の軽さを実現。

全2色

軽 量

防災J形瓦 シリーズ

エース

日本の歴史にはぐくまれた、安らぎのかたち。

全13色

J形 売上げNo.1

スーパーエースJ1

エースバリアで雨水の流れをスムーズに。

全2色

緩勾配対応

スーパーエースJ2

緩勾配対応はそのままのシンプルデザイン。

全2色

緩勾配対応

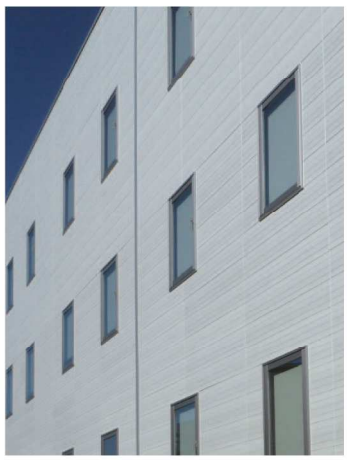
鶴弥製品には太陽光パネルが設置可能です。

太陽光パネル 据置型

太陽光パネル 瓦一体型

瓦と同じ、焼き物の壁材です。

陶板壁材スーパートライWall



Q. 屋根材によって色落ちしたり、錆びたりするものがあるの?

A. はい、化粧スレートや金属は約10年～15年で塗り替えが必要です。粘土瓦は美しさがいつまでも続くから、塗り替えの必要がない屋根材です。

屋根材 比べて! POINT

色落ちしない粘土瓦

粘土瓦はお茶碗などと同じ焼き物。1,130℃の高温でしっかりと焼き締めるので、塗装と違い色落ちや色褪せがなく、耐久性に優れた屋根材です。時間がたつと、金属は錆が出たり、化粧スレートだと色落ちし、塗り直しが発生します。

錆びた金属屋根

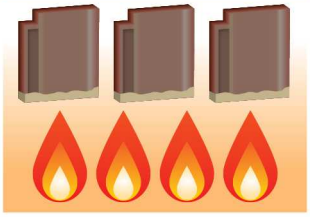
30年後の化粧スレート屋根

30年後の瓦屋根

表面を保護したり、色を出したり…釉薬(うわ薬)の力

粘土瓦は表面に釉薬をかけてから焼成されます。釉薬は高温で焼かれると安定したガラス質に変化し、含まれた顔料が多彩な色を生み出します。このガラス質の層が汚れや色落ちから瓦をしっかりと守ります。

1,130℃で焼き締められる瓦



Q. 他の屋根材に比べてちょっと高くないかしら？化粧スレートの倍くらいするって聞くけど・・・

A. **確かに初期費用は高いんですが、30年のコストで考えるとはるかに安いんです。屋根材は長持ちするものを選ぶのがコツです。**

屋根材 比べて！POINT

錆びない・色落ちしない、だから塗り替えコストが不要です。

粘土瓦の初期費用は化粧スレートに比べると高いのは事実。でも、ガラス質でしっかりと保護された粘土瓦は色落ちしないため、塗り替えコストが不要です。化粧スレートや金属は5～15年で表面の着色が退色するため、再塗装が必要です。20年、30年という単位でみれば、ずいぶんとお得!!というのが粘土瓦のメリットです。

■コストとメンテナンスのイメージ図

屋根面積100m²で、メンテナンスコスト・シミュレーションを行いました。

屋根材別/初期コスト	10年　20年　30年	トータルコスト
当社粘土瓦 **800,000円** (約8,000円/m²として)	瓦表面塗り替えの必要なし 点検　点検　点検	**約800,000円**
化粧スレート 金　属 **500,000円** (約5,000円/m²として)	表面塗装＋足場 700,000円 表面塗装＋足場 700,000円 葺き替え 1,200,000円	**約3,100,000円** (50万+70万×2+120万)

※資料：住宅産業協議会より

化粧スレートと比べて30年間で 約230万円 お得!!

※専門業者による定期点検を10年に1回程度を目安として実施するようにお願いします。

Q. 屋根材によって快適さや過ごしやすさは違うのかしら？

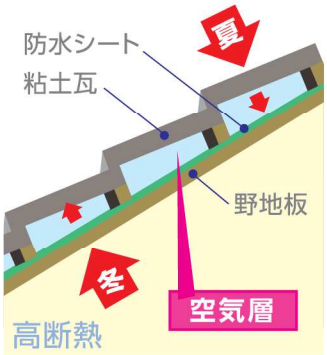
A. はい。屋根材によって違います。粘土瓦は化粧スレートなどと比べて、夏涼しく、冬暖かいんです。

屋根材 比べて！POINT

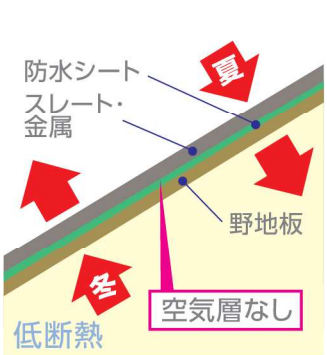
瓦と野地面の空気層がポイントです。

粘土瓦の場合、化粧スレートや金属と違って野地面との間に空気層ができます。そのため通気性も良くなり、熱を屋根裏へ伝えにくく、また室内の熱を逃がさない働きがあるのです。

瓦の場合



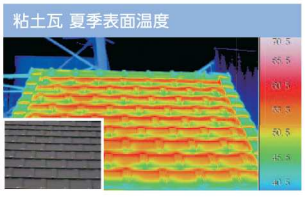
化粧スレート・金属の場合

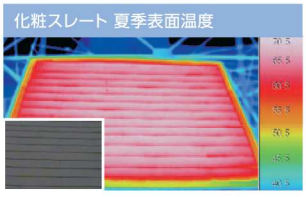


屋根材 比べて！POINT

瓦と化粧スレートの温度の比較

日差しの強い夏、化粧スレートの場合、野地表面の温度は57.9℃まで上昇します。これに対し、粘土瓦の場合には48.9℃。その差は9℃。粘土瓦の断熱性能の良さを証明する数字です。瓦は粘土を原料とした「やきもの」です。湯飲みと同じように、熱さを伝えにくい素材のため、室内は夏涼しく、冬暖かいのです。





赤外線を反射する新機能瓦（遮熱瓦）

太陽の赤外線を選択的に反射して、屋根を通過する熱を低減させることにより、室内温度の上昇を防ぎます。

Q. 地震のニュースで瓦屋根の家が倒壊しているのを見るとやっぱり重いからかな？と思うんだけど…

A. いいえ。倒壊の原因は瓦ではなく家の強度が問題だったのです。

要因は**軟弱な地盤、建物の強度不足、建物の形状・バランス**です。建築基準法にそった家なら屋根の重さを考慮した設計をするため屋根が瓦でも大丈夫ですよ。

大地震でも、新耐震基準なら大丈夫

右の写真は昭和50年（1975年）に建てられた物件を耐震補強ありと補強なしを実物件で比較した耐震実験です。耐震補強を行うことで昭和56年以前に建てられた物件も新耐震基準レベルまで耐震強度を上げられることが実証されました。また、瓦屋根の安全性も実証されました。

震度7クラスの揺れにも耐える振動実験

Q. 地震も怖いけど、日本は台風が多いから、風の被害も気になる…瓦って簡単に落ちたり飛ばされないかしら？

A. 瓦は進化してますよ。瓦同士をがっちりかみ合わせる「防災瓦」なら安心です。鶴弥の瓦は全て防災瓦です。

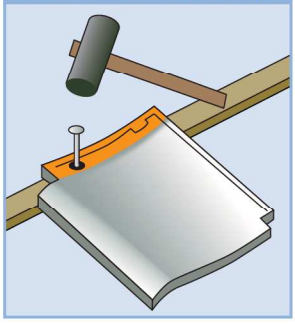
地震・台風に強い!! 防災瓦のココがポイント!!

スーパーロック工法が屋根を、暮らしを守ります。

下の瓦のハイパーアームが上の瓦のアンダーロックをがっちりと押さえ込むスーパーロック工法。台風時などの強風や震度7クラスの地震に威力を発揮するオリジナルな工夫です。

スーパーロック工法

さらに瓦を釘でしっかり固定



防災瓦との組み合わせで威力発揮の棟金具仕様（ガイドライン工法）※

屋根の棟部分を専用の金具などでしっかりと固定し、瓦のズレや脱落を防ぐガイドライン工法。防災瓦と組み合わせれば強風にも地震の揺れにも安心です。

この工法にそわない古い工法ではズレや脱落が起こりやすくなるのです。

※震度7クラスの揺れに耐えられるよう科学的実験により実証された全日本瓦工事業連盟の推奨する耐震・耐風工法です。

棟金具仕様

※棟金具仕様は、地域によって仕様が異なります。

いろいろ いいね！瓦

やっぱり日本の屋根には粘土瓦が一番ですよね！

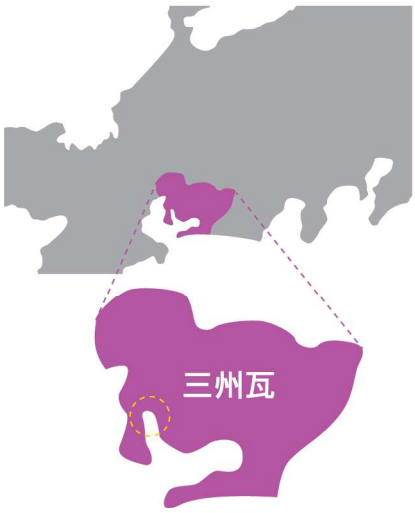
	粘土瓦	化粧スレート	金属
耐震性	◎	◎	◎
快適（断熱・雨音）	◎	△	△
デザイン（多様性）	◎	△	○
ランニングコスト（塗り替え）	◎	△	△
長持ち（高耐久）	◎	△	△

日本三大瓦ブランドの一つ、シェア77%【愛知県の三州瓦】

※2017年度

三州瓦（さんしゅうがわら）とは、愛知県西三河地方の旧国名三河を意味する「三州」に由来します。良質な粘土が豊富にあるこの地域は ――――――

①原料である粘土の調達が容易であること
②日本の中心付近であるという好立地と、国内でも随一の産業圏にあることで、トラックの帰便の活用によって運送コストを低く抑える事ができたこと
③原材料業者や設備業者といった協力業者が多く集まったことなどにより、粘土瓦の産地の中で最も成功・繁栄してきました。



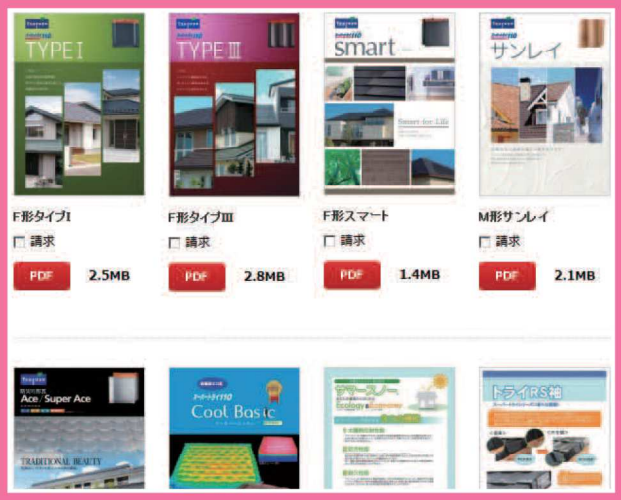
全国的に有名な粘土瓦は、三州瓦の他に石州瓦（島根県）、淡路瓦（兵庫県）などもあり、それらを総称して三大瓦（日本の瓦の三大産地）と呼んでいます。

資料：愛知県陶器瓦工業組合・石州瓦工業組合・淡路瓦工業組合

創業百余年。
鶴弥は粘土瓦のリーディングカンパニーとして、弛まぬ挑戦を続けていきます。

1400年の時を重ね、日本の伝統となった粘土瓦。
焼き物ならではの重厚感と、葺き上がりの美しさが住宅に高級感を演出します。
鶴弥は明治20年の創業以来、瓦づくり一筋に歴史を重ねてきました。
日本の伝統を守りながら進化し続ける屋根材として、これからもみなさまに
粘土瓦をお届けしていきます。

豊富な施工事例



カタログ（閲覧・請求）

カラーシミュレーション

http://www.try110.com/kawara/color.html

防災瓦のヒミツ

製品情報・もっと詳しい瓦の情報・資料請求は鶴弥のHPをご覧ください!

www.try110.com 鶴弥 検索

三州瓦製造・販売

Tsuruya 株式会社 鶴弥

0120-817-268

本社 愛知県半田市州の崎町2番地12

特約店